



AMUSE

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2022年11月14日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
 コード番号 4301 URL <https://www.amuse.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 中西 正樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 柏木 伸裕 MAIL amuseir@amuse.co.jp
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	21,958	40.6	778	△41.4	909	△30.7	380	△69.7
2022年3月期第2四半期	15,612	—	1,328	—	1,312	—	1,254	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,205百万円 (△8.2%) 2022年3月期第2四半期 1,313百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	22.29	—
2022年3月期第2四半期	71.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	50,641	36,816	67.1
2022年3月期	49,313	37,761	71.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 33,974百万円 2022年3月期 35,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2023年3月期	—	20.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	16.1	2,600	△9.7	2,700	△3.6	1,650	5.5	97.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日(2022年11月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」
 をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	18,623,520株	2022年3月期	18,623,520株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,942,411株	2022年3月期	1,194,751株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	17,057,043株	2022年3月期2Q	17,427,766株

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式（2023年3月期2Q285,430株、2022年3月期288,160株）が含まれております。また、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2023年3月期2Q287,705株、2022年3月期2Q289,343株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

1. 決算補足説明資料はT D n e t 及び当社ウェブサイトにて同日公開しております。
2. 当社は、2022年11月24日(木)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会にて使用する決算補足説明資料は、開催後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

〔当第2四半期連結累計期間の経営成績〕

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	増減	増減率 (%)
営業収入	15,612	21,958	6,346	40.6
営業利益	1,328	778	△550	△41.4
経常利益	1,312	909	△402	△30.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,254	380	△874	△69.7

〔経営成績の分析〕

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の各種経済政策による効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されました。しかし、世界的な金融引き締めが続いていることによるわが国への影響や金融資本市場の変動などによる影響を引き続き注視する必要があります。

このような状況の中、当社グループの経営成績は営業収入219億5千8百万円（前年同四半期比40.6%増）、営業利益7億7千8百万円（前年同四半期比41.4%減）、経常利益9億9百万円（前年同四半期比30.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億8千万円（前年同四半期比69.7%減）となりました。前年同四半期に比べ、大型コンサートツアーが増加したことに伴いイベント収入が大幅に増加した他、レーベル収入、印税収入、番組制作収入、映像製作収入、出演収入等が増加したことにより営業収入は増収となりました。一方でこれら営業収入に係る営業原価や販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

＜営業収入＞

- ・ イベント収入が増加
- ・ レーベル収入が増加
- ・ 印税収入が増加
- ・ 番組制作収入が増加
- ・ 映像製作収入が増加
- ・ 出演収入が増加

＜営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益＞

営業原価と販売費及び一般管理費の増加により減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	7,176	12,348	5,171	72.1
音楽・映像事業	5,979	6,885	905	15.1
出演・CM事業	2,456	2,725	268	10.9
合計	15,612	21,958	6,346	40.6

(セグメント利益又は損失(△))

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	△226	△18	207	—
音楽・映像事業	1,025	616	△409	△39.9
出演・CM事業	529	180	△349	△65.9
調整額	—	—	—	—
合計	1,328	778	△550	△41.4

【イベント関連事業】

営業収入123億4千8百万円（前年同四半期比72.1%増）、セグメント損失1千8百万円（前年同四半期は2億2千6百万円のセグメント損失）となり、増収増益となりました。

【主な事業】

・ イベント収入：＜コンサート＞

福山雅治、SEKAI NO OWARI、Perfume、ポルノグラフィティ、宮本浩次、BEGIN、FLOW、Skoop On Somebody、DEAN FUJIOKA、藤原さくら、神はサイコロを振らないのコンサートツアー
エレファントカシマシのコンサート

＜舞台・公演＞

地球ゴージャス「クラウディア」
熱海五郎一座「任侠サーカス ～キズナたちの挽歌～」
ブルーマングループ ワールドツアー IN JAPAN
ミュージカル「The Parlor」
舞台「もはやしずか」
s**t kingz「HELLO ROOMIES!!!」

・ 商品売上収入：コンサートグッズなど

・ ファンクラブ収入：サザンオールスターズ、福山雅治、星野源、Perfume、ポルノグラフィティなど

＜営業収入＞

・ イベント収入の増加

（前年同四半期は桑田佳祐のコンサートツアー、Perfumeのコンサート、TEAM NACSによる公演など）

上記要因などにより増収となりました。

＜セグメント利益＞

イベント収入に係る営業原価の増加はあったものの、増収要因により増益となりました。

[音楽・映像事業]

営業収入68億8千5百万円（前年同四半期比15.1%増）、セグメント利益6億1千6百万円（前年同四半期比39.9%減）となり、増収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 印税収入（新譜・旧譜）：サザンオールスターズ、福山雅治、星野源、Perfumeなど
- ・ レーベル収入：福山雅治のオンラインライブBlu-ray&DVD、Saucy Dogのミニアルバムなど
- ・ 番組制作収入：単発番組の制作受託など
- ・ 映像製作収入：イベント興行の中継及び上映収入など
- ・ 映像作品販売収入：吉高由里子主演ドラマ「最愛」などのBlu-ray&DVD販売収入

<営業収入>

- ・ レーベル収入が増加
（前年同四半期は福山雅治、BABYMETAL、@onefiveのBlu-ray&DVDなど）
 - ・ 印税収入（新譜・旧譜）が増加
 - ・ 番組制作収入が増加
 - ・ 映像製作収入が増加
- 上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

レーベル収入等に係る営業原価の増加により減益となりました。

[出演・CM事業]

営業収入27億2千5百万円（前年同四半期比10.9%増）、セグメント利益1億8千万円（前年同四半期比65.9%減）となり、増収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 出演収入・CM収入：福山雅治、星野源、大泉洋、安田顕、DEAN FUJIOKA、ホラン千秋、仲里依紗、吉高由里子、吉沢亮、三吉彩花、堀田真由、小関裕太、清原果耶など

<営業収入>

出演収入の増加により増収となりました。

<セグメント利益>

出演収入及びCM収入に係る営業原価の増加により減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)	増減
総資産 (百万円)	49,313	50,641	1,328
純資産 (百万円)	37,761	36,816	△945
自己資本比率 (%)	71.3	67.1	△4.2
1株当たり純資産 (円)	2,017.09	2,036.72	19.63

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,095	4,581	2,485
投資活動によるキャッシュ・フロー	△502	△1,194	△692
財務活動によるキャッシュ・フロー	△647	△2,251	△1,603

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は506億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億2千8百万円増加いたしました。主な増加要因は、流動資産「未収入金」の減少はありましたが、流動資産「現金及び預金」及び「営業未収入金」並びに投資その他の資産「投資有価証券」の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は138億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億7千4百万円増加いたしました。主な増加要因は、流動負債「営業未払金」及び「その他」の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は368億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億4千5百万円減少いたしました。主な減少要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上による増加はありましたが、「自己株式」取得及び配当による「利益剰余金」の減少によるものであります。この結果、自己資本比率は67.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ12億7千万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には282億3千4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は45億8千1百万円（前年同四半期は20億9千5百万円の獲得）となりました。

これは、主に営業債権の増加はありましたが、営業債務の増加及び未収入金の減少による資金増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は11億9千4百万円（前年同四半期は5億2百万円の使用）となりました。

これは、主に有形固定資産の売却はありましたが、有形固定資産の取得及び関係会社株式の取得による資金減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は22億5千1百万円（前年同四半期は6億4千7百万円の使用）となりました。

これは、主に自己株式の取得による資金減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月16日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳しくは本日（2022年11月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,481	28,760
営業未収入金	4,887	5,915
商品及び製品	1,321	1,259
仕掛品	1,282	944
原材料及び貯蔵品	190	169
未収入金	3,271	1,115
その他	1,172	1,087
貸倒引当金	△153	△158
流動資産合計	39,454	39,094
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,821	1,947
土地	996	1,017
その他（純額）	563	871
有形固定資産合計	3,381	3,837
無形固定資産		
その他	431	430
無形固定資産合計	431	430
投資その他の資産		
投資有価証券	4,606	5,950
その他	1,573	1,450
貸倒引当金	△135	△121
投資その他の資産合計	6,045	7,279
固定資産合計	9,858	11,547
資産合計	49,313	50,641

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	6,707	8,167
未払法人税等	241	303
役員賞与引当金	31	—
従業員株式給付引当金	20	35
その他	2,969	3,693
流動負債合計	9,970	12,201
固定負債		
長期借入金	122	89
役員株式給付引当金	58	74
退職給付に係る負債	1,373	1,439
その他	26	20
固定負債合計	1,581	1,624
負債合計	11,551	13,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587	1,587
資本剰余金	2,284	2,284
利益剰余金	31,149	30,882
自己株式	△1,249	△2,729
株主資本合計	33,772	32,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,318	1,671
為替換算調整勘定	13	230
退職給付に係る調整累計額	50	47
その他の包括利益累計額合計	1,382	1,949
非支配株主持分	2,606	2,841
純資産合計	37,761	36,816
負債純資産合計	49,313	50,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業収入	15,612	21,958
営業原価	11,773	18,468
営業総利益	3,838	3,490
販売費及び一般管理費	2,510	2,712
営業利益	1,328	778
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	4	12
為替差益	—	39
受取手数料	1	—
補助金収入	1	9
持分法による投資利益	—	90
その他	11	13
営業外収益合計	21	166
営業外費用		
持分法による投資損失	29	—
為替差損	6	—
自己株式取得費用	—	32
その他	2	2
営業外費用合計	38	35
経常利益	1,312	909
特別利益		
固定資産売却益	—	270
関係会社清算益	—	3
特別利益合計	—	274
特別損失		
投資有価証券評価損	—	7
関係会社株式評価損	—	1
関係会社株式売却損	—	141
公演中止損失	—	36
特別損失合計	—	187
税金等調整前四半期純利益	1,312	995
法人税、住民税及び事業税	136	335
法人税等調整額	△178	22
法人税等合計	△41	357
四半期純利益	1,353	638
非支配株主に帰属する四半期純利益	99	258
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,254	380

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,353	638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△97	353
為替換算調整勘定	58	216
退職給付に係る調整額	△2	△3
その他の包括利益合計	△40	567
四半期包括利益	1,313	1,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,213	947
非支配株主に係る四半期包括利益	99	258

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,312	995
減価償却費	168	176
のれん償却額	13	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	△9
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	△31
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	13	16
従業員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	19	21
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	56	65
受取利息及び受取配当金	△7	△14
持分法による投資損益 (△は益)	29	△90
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△270
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	7
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	141
関係会社株式評価損	—	1
営業債権の増減額 (△は増加)	1,906	△1,110
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△525	366
営業債務の増減額 (△は減少)	△225	1,496
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△83	253
未収入金の増減額 (△は増加)	169	1,776
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△970	△269
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,497	94
その他	△751	782
小計	2,590	4,399
利息及び配当金の受取額	6	14
法人税等の支払額	△585	△212
法人税等の還付額	84	379
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,095	4,581
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500	△500
定期預金の払戻による収入	500	500
有形固定資産の取得による支出	△883	△933
有形固定資産の売却による収入	—	664
無形固定資産の取得による支出	△100	△102
敷金及び保証金の回収による収入	288	4
関係会社株式の売却による収入	375	—
関係会社株式の取得による支出	—	△530
投資有価証券の取得による支出	△0	△91
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△129
貸付けによる支出	△193	—
貸付金の回収による収入	33	75
その他	△22	△152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△502	△1,194
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	30	—
自己株式の取得による支出	△0	△1,486
配当金の支払額	△617	△706
非支配株主への配当金の支払額	△55	△54
その他	△4	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△647	△2,251
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	134
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	979	1,270
現金及び現金同等物の期首残高	27,148	26,964
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,127	28,234

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イベント関連 事業	音楽・映像 事業	出演・CM 事業	計		
営業収入						
イベント収入	3,174	—	—	3,174	—	3,174
ファンクラブ・商品売上収入	4,001	—	—	4,001	—	4,001
音楽収入	—	3,605	—	3,605	—	3,605
映像収入	—	1,835	—	1,835	—	1,835
その他音楽・映像収入	—	538	—	538	—	538
出演・CM収入	—	—	2,456	2,456	—	2,456
顧客との契約から生じる収益	7,176	5,979	2,456	15,612	—	15,612
外部顧客への営業収入	7,176	5,979	2,456	15,612	—	15,612
セグメント間の内部営業収入 又は振替高	105	54	9	168	△168	—
計	7,281	6,034	2,465	15,781	△168	15,612
セグメント利益又は損失(△)	△226	1,025	529	1,328	—	1,328

(注) 1. 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イベント関連 事業	音楽・映像 事業	出演・CM 事業	計		
営業収入						
イベント収入	7,459	—	—	7,459	—	7,459
ファンクラブ・商品売上収入	4,888	—	—	4,888	—	4,888
音楽収入	—	4,210	—	4,210	—	4,210
映像収入	—	2,182	—	2,182	—	2,182
その他音楽・映像収入	—	492	—	492	—	492
出演・CM収入	—	—	2,725	2,725	—	2,725
顧客との契約から生じる収益	12,348	6,885	2,725	21,958	—	21,958
外部顧客への営業収入	12,348	6,885	2,725	21,958	—	21,958
セグメント間の内部営業収入 又は振替高	53	58	0	111	△111	—
計	12,401	6,943	2,725	22,070	△111	21,958
セグメント利益又は損失 (△)	△18	616	180	778	—	778

- (注) 1. 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。
 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。